コラム　地名と地学

岐阜と岐阜城

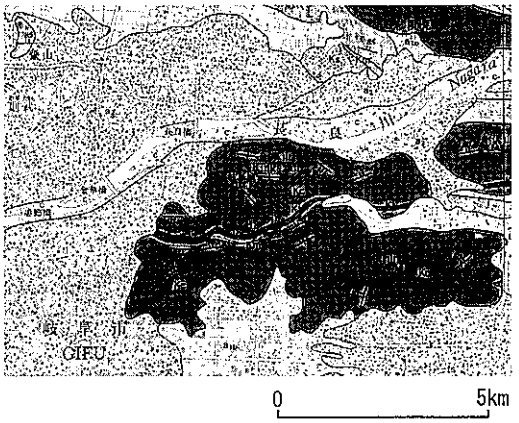
桶狭間の合戦で今川義元を打ち破った信長は，三河の徳川家康と同盟を結んで東方からの脅威を取り除くと，北の美濃に狙いを定めた．京都へ上洛するには，どうしても美濃を手中にする必要があったからである．

美濃は斎藤氏の支配下にあったが，永禄10年（1567），信長は斎藤龍興を追放し稲葉山城に入った．そして城下町の名を「井の口」から「岐阜」に，城の名も「岐阜城」に改めた．ちなみに征服した土地の名前を改めた大名は信長が最初らしく，また「岐阜」という名は中国の古代王朝，周の発祥地「岐山」から採用したと言う説が有力である．「岐阜」の「阜」は「丘」の意味であるから，二つはほとんど同じ意味になる．

稲葉山城改め岐阜城は，長良川に臨む標高328.9mの金華山山頂付近に築城されており，城下町とは300m以上の比高がある．吉田・脇田（1999）の5万分の1地質図幅「岐阜」によると，金華山は美濃帯堆積岩コンプレックスの上麻生ユニットを構成するチャートから出来ている（第1図）．上麻生ユニットは中生代付加体であり，チャートそのものは三畳紀中期からジュラ紀前期の堆積物，大陸地殻への付加年代はジュラ紀中期から白亜紀最前期とされている．岐阜城は，数億年前に形成された強固な岩盤の上に築かれたわけである．

神仏を信じなかった信長も，正月には岐阜城にでんとかまえ，年賀の挨拶を受けたそうである．各地の武将・寺社・商人や織田家の重臣たちは，献上品を取り揃えて信長のご機嫌を取り結ぶのに余念がなかったであろうが，比高300mもの山上まで重い贈物を運び上げるのは大変だったろうと，苦労がしのばれる．ちなみに，贈物が一番豪勢だったのは，木下藤吉郎秀吉（後の豊臣秀吉）であったとのことである．

（吉田史郎）



美濃帯堆積岩コンプレックス
上麻生ユニット
Ks：塊状砂岩及び砂岩泥岩互層，Km：泥岩及び泥岩砂岩互層
Kc：チャート，Kt：砥石型珪質粘土岩

第1図　岐阜城周辺の地質．5万分の1地質図幅「岐阜」．

編集後記

◆思うところがあって，先月号から編集後記のページに「地名と地学」と題して，コラムを書かせていただくことにしました．毎月，編集後記に苦し紛れの駄文をひねり出し，皆様のお目を汚すよりも，なにか地学にちなむエッセイでも書いたほうが世のため人のためになるのではないかと愚考した次第です．当面は戦国シリーズで突っ走るつもりです．

◆さて今年もあっという間に過ぎ，師走となりました．4月から編集責任者をおおせつかり，不慣れな点も多く，何人かの方々にはご迷惑をおかけしつつ，とまどいながらもなんとかここまでやってこられましたのも，ご投稿くださった方々，原稿を読んでいただいた方々のおかげと感謝いたします．関係者の皆様には心よりお礼申し上げますとともに，愛読者の皆様には良きお年をお迎えくださいますようと申し添え，年末の挨拶といたします．

（吉田史郎）

地質ニュース編集委員会
委員長：吉田史郎
副委員長：谷田部信郎
委　員：磯部一洋・関口春子・中島　隆・安川香澄・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター　地質標本館
〒305-8567 茨城県つくば市東1−1−1
Tel. 0298−61−3754
Fax. 0298−61−3569

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース　第580号　2002年　12月号
定価￥785（本体価格￥748）〒実費
2002年12月1日　発行
編集　産業技術総合研究所
発行人　株式会社　実業公報社
代表者　林　光生
発行所　株式会社　実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8　〒102-0073
Tel.(03)3265−0951　Fax.(03)3265−0952
E-mail: j-k@jitsugyo-koho.co.jp
振替口座　00110−6−32466
麹町局私書箱第21号
印刷　株式会社　エアフォルク

©2002 Geological Survey of Japan
●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります．また，最寄りの書店でも注文できます．